

2017 年シーズンに向けての U19 強化への取り組みについて

1 主 旨

リオデジャネイロオリンピックが終了し、2017 シーズンは 2020 年東京オリンピックでのメダル獲得に向けての最初のステップとなります。強化委員会といたしましては、若い世代の成果を確実にシニア世代へ繋げ国際競技力の一段の強化を図るべく、シドニーオリンピック金メダリスト **Xavier Dorfman**（ギザビエ・ドルフマン）氏が主導するコーチング体制のもと、そのトレーニングプログラムを推進してまいります。

それに伴い、世界ジュニア選手権大会・アジアジュニア選手権大会等の U19 日本代表の選考方法も大きく変わります。詳細は、すでに JARA HP に掲載されています「(10/17 付)2017 年日本代表選手（シニア・U23・U19 カテゴリー）選考方針(JARA28-149)」をご覧ください。また、選考等の内容・システムを補足説明する文書等も、必要に応じてその都度お知らせしてまいります。

上記の選考方針の「1 基本的な考え方」で以下の文言が記載されています。

高いレベルの **Rowing** を実現するのは簡単なことではありません。毎年、毎日 365 日、質の高いトレーニングを実施し、それを何年も続けなくてはなりません。それを通してやっと高いレベルの **Rowing** を実現できるようになります。途中で緩めてはいけません。速くなるためには、同じスピリッツでトレーニングに挑み、トレーニングの質を確保する必要があります。そして、トレーニングの質を常に確認し、トレーニングを評価し続けることが必要であり、それなしに選考を優先させてはいけません。

したがって、選考に関するそれぞれのトライアルや測定が独立して行われるのではなく、今後示されるトレーニングプログラムの中で測定やトライアルが実施されます。よって、競技力向上を目指す選手は、その「トレーニングメニュー」を実施していただいた上での測定やトライアルであり、そのトレーニングプログラムを着実に遂行していただくことが U19 日本代表への道であることをご理解ください。

なお、シニア・U23・U19 全てのカテゴリーを含めての強化体制・強化方法等の説明に関しましては、既にインカレ・国体開催時に **Xavier** 氏から説明を行なっているところではありますが、12 月実施予定の U19 強化合宿においても実施し、合宿でのトレーニングにおいてもそのプログラムのもと実施してまいります。

2 ナショナルチーム

(1)世界選手権・U23 世界選手権・世界ジュニア選手権日本代表（候補）

シニア・U23 そして U19 も含めて、従来の『国内選考レースでの「上位何人」がそれぞれの世界選手権に出場する』という考え方ではなくなります。「**Ideal Time**」という世界で戦う上での基準が示され、国際レベルに達している選手が「世界ジュニア日本代表候補選手」に選考されます。U19 においては **FinalB** 進出がターゲットとなります。この選考のためのトライアル等は、下記 3 に示す手順で行われます。

また最終的な世界選手権への派遣は、選考された日本代表（候補）選手の何らかの国際レース、あるいは各カテゴリーの世界選手権前に行う 2000m トライアルの結果によって最終決定され、「世界ジュニア日本代表選手」が派遣されることになります。

(2)上記のレベルに達していない選手のうち、将来国際レベルに達する可能性のある選手

上記のレベルに達していない選手のうち、将来国際レベルに達する可能性のある選手も選考され、世界選手権以外の「そのレベルにふさわしい国際大会」への派遣が行われる予定です。この選考のためのトライアル等は、下記 3 に示す手順で行われます。世界選手権以外の「そのレベルにふさわしい国際大会」については、確定次第お知らせしていくことになります。

3 世界ジュニア選手権大会を目指す U19 選手

世界ジュニア選手権を目指す選手の取るべき手順に関しては、「2017 年日本代表選手（シニア・U23・U19 カテゴリー）選考方針(JARA28-149)」に記載されている通りです。

- (1)世界ジュニア選手権大会を目指す U19 選手は、必ず①「12 月ロングレース(6000m) (12/9(金)に実施予定)」と②「12 月エルゴメータートライアル(2000m)(12 月末実施予定)」に参加してください。

この①と②に参加した選手が下記(2)の「日本代表候補選考レース」に出場する資格があります。

※この「12 月エルゴメータートライアル(2000m)」はシニア・U23 カテゴリーにおいては 12/24(土)実施とプログラムされていますが、U19 の場合、下記 4(1)に示す「12 月 U19 強化合宿」を 12/18(日)~12/22(木)に実施し、そこで B1 ならびに B2 を中心としたトレーニングをする予定です。その時期に U19 のみの B1・B2 トレーニング合宿を実施するために、必然的に「トレーニングメニューの中の一つであるエルゴメータートライアル」の日程も、U19 においては、シニア・U23 カテゴリーの 12/24(土)実施とは別日程でプログラムされることになります。U19 の「12 月エルゴメータートライアル(2000m)」の実施日程は、確定次第お知らせいたします。

- (2)上記(1)に加えて、「日本代表候補選考レース」の①「予選(2000m タイムトライアル)(3/14(火)実施予定)」にご参加ください。この①「予選(2000m タイムトライアル)(3/14(火)実施予定)」を通過した選手が②「本選(2000m レース)(3/30(木)~4/2(日)実施予定)」に進みます。そして本選(2000m レース)(3/31(金)~4/2(日)実施予定)」によって、日本代表候補選手が選考されます。

4 12 月 U19 合宿から全日本ジュニア選手権大会まで

(1) 12 月 U19 強化合宿(12/18(日)~12/22(木)(予定))

別途示されるトレーニングメニューにある「5k Ergo Test(11/5(土)実施)」によって男女それぞれ推薦選手 20 名・自費参加選手 20 名、男女計 80 名（予定）で、12/18(日)~12/22(木)(予定)にて U19 強化合宿を実施する予定です。

※「5k Ergo Test」は 11/5(土)実施でプログラムされておりますが、全国高等学校選抜ボート大会ブロック予選等すでに日程が確定されている各種大会等が 11/5(土)に行われる場合、そのブロック単位で協議していただき、そのブロック単位で「5k Ergo Test」を別日程で実施してください。

-1)この合宿の目的は、B1・B2（水上）や C2（サーキットトレーニング）を実施しての U19 選手の強化にあります。引率顧問・指導者の方々だけではなく多くの指導者の方々に参加していただくことを希望しております。

-2)この合宿には、①「12 月ロングレース(6000m) (12/9(金)に実施予定)」の結果、引き続き実施される 12/12(月)~12/18(日)の「シニア・U23・U19 トレーニングキャンプ」に参加した U19 選手も参加する予定です。

(2)1 月・2 月の U19 強化合宿

2017 年日本代表選手（シニア・U23・U19 カテゴリー）選考方針(JARA28-149)」に記載されている通り「1/5(木)~1/15(日)」ならびに「2/13(月)~2/27(月)」に「シニア・U23・U19 トレーニングキャンプ」が予定されています。したがって、今後日程調整を行なった上で、1 月・2 月 U19 強化合宿の実施についてお知らせいたします。

(3)全日本ジュニア選手権大会

従来通り、全日本ジュニア選手権大会は、ナショナルチームの選考レースを兼ねますが、以下の点をご確認ください。

-1) 前述の「2 ナショナルチーム」で記載した「12 月ロングレース(6000m) (12/9(金)に実施予定)」と「12 月エルゴメータートライアル(2000m)(12/24(土)実施)」ならびに「予選(2000m タイムトライアル)(3/14(火)実施予定)」を通過した選手が進む②「本選(2000m レース)(3/31(金)~4/2(日)実施予定)」の過程で選考された「世界ジュニア選手権日本代表（候補）選手」は、全日本ジュニア選手権大会には出場しません。

-2)世界ジュニア選手権日本代表（候補）選手の選考は、前述の「2 ナショナルチーム」で記載した「12 月ロングレース(6000m) (12/9(金)に実施予定)」と「12 月エルゴメータートライアル(2000m)(12/24(土)実施)」ならびに「予選(2000m タイムトライアル)(3/14(火)実施予定)」を通過した選手が進む②「本選(2000m レース)(3/31(金)~4/2(日)実施予定)」の過程でのみ選考されます。したがって全日本ジュニア選手権大会の結果において「世界ジュニア選手権日本代表（候補）選手の選考」は行いません。

・3)全日本ジュニア選手権においては、将来国際レベルに達する可能性のある選手も選考される可能性があります。したがって、前述の「2 ナショナルチーム(1)(2)」で記載したナショナルチームに選考されなかった選手にとっては、全日本ジュニア選手権大会は、「将来国際レベルに達する可能性のある選手」に新たに選考されるための、いわば「セカンドチャンス」となります。ただしこの場合も、「大会結果の上位何人まで」という選考ではなく、「Ideal Time」という世界で戦う上での基準を基に、「将来国際レベルに達する可能性のある選手」が選考されることになります。

5 その他

冒頭に記しましたように、選考等の内容・システムを補足説明する文書等も、必要に応じてその都度お知らせしてまいります。その際、今回お知らせした内容を修正・訂正する場合もあるかもしれません。これもその都度、説明してまいります。